

第八十一回
貴族院 帝國議會

臨時利得稅法中改正法律案特別委員會議事速記錄第三號

昭和十八年二月十九日(金曜日)午後一時

三十六分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會致シマス、前回ノ時ニ橋本サンカラノ御質問ニ對シテ、今日理財局長ガ見エテ居リマス、御答辯ガアリマス、理財局長

○政府委員(田中豊春君) 昭和十八年度末ニ於ケル國債ハドノ位ニナルカト、並ニソレノ利子額ニ付キマシテノ御尋ガアッタ承リマシタガ、昭和十八年度末ニ於キマシテハ、國債總額ガ約七百八十億ニ相成ルノデゴザイマス、之ニ對シマスル一年分ノ利子ハ二十七億程度ノモノト考ヘラレマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 大河内子爵ハ山林局長ニ對シテ御質問デスカ、山林局長ガ見エテ居リマス、ドウゾ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 大藏大臣ハ如何デゴザイマセウカ

○子爵大河内耀耕君 大藏大臣ハ如何デゴザイマセウカ

○子爵大河内耀耕君 ソレデハ甚ダ勝手デゴザイマスガ、大藏大臣ガ御出ニナッテカラニ御願ヒシタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 昭和十六年ノ臨時議會ニ於キマシテハ、間接稅ヲ中心トシテ増稅セラレテ居リマスルシ、昭和十七年ノ通常八年度ハ、間接稅ヲ御承知ノ通リ中心トシ

テ大增稅ガ行ハレヨウトンテ居リマス、仍テ明年、即チ昭和十九年度ニハ又々直接稅ヲ中心トシテ增稅ガ行ハレルノデハナイカト考ヘラレマス、イヤ、マサカ左様ナコトハアルマイトハ存ジマス、ソレハ免モ角ト致シマシテ、昭和十八年度ノ增稅ガ間接稅ヲ中心トシテ行ハレマスコトニ付キマシテハ、私ハ雙手ヲ擧ゲテ贊成ヲ致スノデアリマス、就キマシテハ、昭和十八年度ノ增稅ヲ間接稅ヲ中心トシテ致サレマシタ論據ト申シマスルカ、其ノ實情ニ付テ御差支ノナイ程度ニ於テ御説明ガ願ヒタイト存ジマス、尙併セテ明十九年度ハ直接稅ヲ中心トシテ增稅セラル、御見透デアリマスカドウカ、此ノ點モ併セテ御伺ヒ致シタトイ思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 昭和十八年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リマシテ、臨時軍事費特別會計ノ追加豫算ノ財源ト致シマシテ、租稅ヲ增徵スルコトヲ考ヘタノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ直接稅ヲ主トシテ増徵ヲ行フカ、間接稅ヲ中心トシテ増徵ヲ行フカト云フコトニ關シマシテ、大藏大臣ハ直接稅の間接稅ノ引上ト云フヤウナ風ニモ見ラレナイコトハナイト、斯ウ仰シヤッテ居ラレル通り、或程度負擔力ノ餘裕ノアル階級ニ對シマシテ、稅率ガ強ク引上ガラレテ居ルト云フヤウナ點モゴザイマスルノデ、旁、直譯ニモ参リマセヌカラシテ、矢張リ或程度ノ増徵案ガ考ヘラレルノデアラウト思フマスレバ、今後ニ於キマシテモ臨時軍事費ヲ初メト致シマシテ、政府ノ戰時財政ト云フモノハ恐ラク膨脹ノ一途ヲ辿ルノデアリマセウシ、其ノ場合ニ於キマシテ増加致シマシタ歲出ノ財源ヲ全部公債ニ依ルト云云フ譯ニモ参リマセヌカラシテ、矢張リ或程度ノ増徵案ガ考ヘラレルノデアラウト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ十八年度ニ於テ直接稅ヲ一回休ンダヤウナ形ニナッテ居リマスルカラ、次ノ増徵案ニ於キマシテハ或程度直接稅ノ增徵ガ考ヘラレルノデアラウト思ヒマスルケレドモ、其ノ場合ニ於キマシテ間接稅ニ全然手ヲ觸レナイデ、

題ガ起ルノデアリマスルガ、之ニ付キマシテハ、大藏大臣ガ他ノ機會ニ於テモ御述ニナツテ居ル所デアリマシテ、直接稅ハ昨年ノ相當大幅ノ增徵ニ依リマシテ相當負擔ガ增加シテ參ツテ居リマス、又其ノ負擔ノ増加致シマシタ結果ノ狀況ヲ見定メマスルニ付キマシテモ、施行後マダ間モナイコトデアリ、法人等ニ至リマシテハ年度ノ關係上、増徵負擔ノ決定ヲ全部受ケテ居ラナイト云フヤウナ實情ニアリマスルノデ、モウ少シク状況ヲ見ル必要ガアルト云フヤウナ事情モゴザイマス、ソレカラ經濟界ガ相當統制ノ強化ニ依ツテ變動ヲ受ケテ居リマスルノデ、旁々直接稅ノ増徵ヲモウ暫ク見合セタラモゴザイマス、ソレカラ經濟界ガ相當統制ノ強化ニ依ツテ變動ヲ受ケテ居リマスルノデ、旁々直接稅ノ増徵ヲモウ暫ク見合セタラト云フヤウナ觀測モ行ハレルノデゴザイマス、又今回ノ間接稅中心ノ増徵案ハ、奢侈的消費ニ付キマシテハ特ニ稅率ヲ重クシテアルノデアリマシテ、大藏大臣ハ直接稅の間接稅ノ引上ト云フヤウナ風ニモ見ラレナイコトハナイト、斯ウ仰シヤッテ居ラレル通り、或程度負擔力ノ餘裕ノアル階級ニ對シマシテ、稅率ガ強ク引上ガラレテ居ルト云フヤウナ點モゴザイマスルノデ、旁、直譯ニモ参リマセヌカラシテ、矢張リ或程度ノ増徵案ガ考ヘラレルノデアラウト思フマスレバ、今後ニ於キマシテモ臨時軍事費ヲ初メト致シマシテ、政府ノ戰時財政ト云フモノハ恐ラク膨脹ノ一途ヲ辿ルノデアリマセウシ、其ノ場合ニ於キマシテ増加致シマシタ歲出ノ財源ヲ全部公債ニ依ルト云云フ譯ニモ参リマセヌカラシテ、矢張リ或程度ノ増徵案ガ考ヘラレルノデアラウト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ十八年度ニ於テ直接稅ヲ一回休ンダヤウナ形ニナッテ居リマスルカラ、次ノ増徵案ニ於キマシテハ或程度直接稅ノ增徵ガ考ヘラレルノデアラウト思ヒマスルケレドモ、其ノ場合ニ於キマシテ間接稅ニ全然手ヲ觸レナイデ、

直接税ダケデヤルカドウカト云フコトハ、矢張リ財政ノ需用ノ大キサ、之ヲ賄ヒマスル公債租税ノ割合等、ソレカラ租税ノ國民經濟ニ及シマスル影響、其ノ他各般ノ事情ヲ考慮勘案シテ定メラルベキモノニアリマスノデ、今カラ俄ニ豫測ヘ出來ナイノデアリマスガ、先日モ御話申上ゲマシタヤウニ、國民所得ニ對シマスル租税ノ割合、或ハ財政負擔ノ上ニ於キマスル租税ノ占メスル割合、直接税ノ最高税率ノ問題等カラ勘案致シマシテ、今後ニ於テ直接税ノ増徴ガ全然ナイトハ言ヘナイ、マア考ヘラレル所デアラウト云フ程度シカ申上ゲルコトガ出來ナイカト思フノデアリマス

○子爵梅園篤彦君 豫算ト決算トノ見透シノ程ヲバ伺ヒタイトト思ッタノデアリマスガ、併シ大藏大臣ノ仰セニナリマシタ直接税の間接税トカ、或ハ又只今主税局長ガ仰セニナリマシタ十九年度ニ於テハ直接税ヲ或程度取ラネバナルマイカト云フヤウナ御言葉ナドカラ拜シマシテ、或程度ノ推察ハ出來マスルノデ、只今ノ御説明ヲ以チマシテ満足ヲ致シマス、尙一般ニ瓦爾質問ガ終リマシタラ、各論ノ質問ニ入りマシタラ、一二チョット御尋ねサシテ戴キタイト

○委員長(伯爵酒井忠正君) 大藏大臣マダ御出席ガナイヤウデアリマスルカラ、細かい問題、詰リ各論の御質問ニ入ッテ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵綾小路護君 政府カラ頂戴致シマシタ衆議院ノ河野委員要求ニ係ル参考資料デゴザイマスガ、「最近五箇年ニ於ケル直接税、間接税(流通税ヲ含ム)比率調」之ニ付テ伺ヒタイノデス、此ノ比率ニ關シ備考ニ、昭和十一年度以前ハ決算額ニ依テ居ル、十七年以降ハ豫算額ニ依テ居ルト云フコトガ説明致サレテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ實績ト豫算額トノ相違ハ、左程違ヒノナイモノト思フノデゴザイマスガ、實際ハドンナ結果ニナッテ居リマスカ、御説明ヲ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 豫算ト決算トノ差ハ、普通ニ自然增收ト申シテ居リマスガ、其ノ金額ハ最近ニ於テハ相當増シテ來テ居リマス、尤モ最近租稅收入ガ非常ニ増シタノデアリマスカラ、絕對額ハ増シテモ比率ハソレ程デヘアリマセヌガ、金額ノ方カラ言フト相當増シテ居ルヤウデアリマス、昭和十一年度カラ申上ゲマスルト云フト、昭和十一年度ニ於キマシテハ一億圓、昭和十二年度ニ於キマシテハ一億六千九百萬圓、昭和十三年度ニ於キマシテハ五億一千七百萬圓、此ノ年度ニ於テハ一億七千萬圓、昭和十四年度ニ於テハ二億六千九百萬圓、昭和十五年度ニ於テハ二億六千九百萬圓、昭和十六年度迄

根本的改正ヲ行ッタ年デアリマシテ、從ヒマシテ自然增收ガ相當多カッタノヘ、租稅ノ收入モ大キクナツテ居リマスルガ、稅制ノシテ租稅收入ノ見積ガ非常ニ困難ナノデアツタノデアリマス、ソコデ或程度見込違ヒト目下進行中デアリマスルノデ、決算ヲ結了リマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ金額ニ上リマシタ、昭和十六年度ニ於キマシテハ三億九千六百萬圓デアリ、昭和十七年度ハ然增收ガ出ルノデヘナイカト思シテ居リマス

○子爵綾小路護君 有難ウゴザイマシタ

○男爵東郷安君 今ノ點ニ關聯シテゴザイマスガ、昭和十二年以降ヨリ數次ニ瓦ル公債租税ノ割合ト、ソレノ合算ガ約四十億程度力ト思ヒマスガ、只今ノ御説明ノ自然增收モ入レマスト云フト、遙ニソレヲ越シテ居ルノデスガ、今ノ御説明ノ更ニ内譯デ、各稅別ノ豫算ト實際收入、即チ決算ト最近ノ所へ豫算額ダケデモ宜シウゴザイマスガ、一表ニシタモノハ出來マセヌデセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 昭和十六年度迄ノ所ハ決算トシテ議會ニ提案シテゴザイマシテ、其ノ決算書ニ依リマスルト云フト、各稅目毎ニ豫算ガ幾ラズ、ソレニ對シテ決算ガ幾ラズ、增減幾ラト出テ居ルノデゴザイマスカラ、ソレヲ寫シテ參レバ出來ナイコトハナインデゴザイマス、唯稅目ノ數ガ非常ニ多イノデアリマシテ、是等ハ非常ニ煩雜ニナル譯デアリマス、是等ノ自然增收ヲ形成シテ居リマスル最モ主ナルモノト致シマシテハ、所得稅、法人稅、臨時利得稅、ソレカラ間接稅ノ方面デハ殊ニ最近ニ於キシテハ遊興飲食稅、物品稅、織物消費稅、入場稅ト云ツタヤウナモノガ主ナルモノデゴザイマスルノデ、大勢ヲ御觀察下サル上カラ申上ゲマシタナラバ、自然增收ノ出テ來タ主ナル原因トナリマスル稅目ヲ舉ガテ表ニデモシタ方ガ却テ分リ易イヂヤナイカト思ヒマスガ、ソレデ宜シイヤウデゴザイマスレバ後ホド作ツテ御參考ニ供シタイト思ヒマス

○男爵東郷安君 ドウゾ其ノ程度デ宜シウゴザイマスカラ御願ヒ致シマヌ

○子爵梅園篤彦君 御配付戴キマシタ「租稅ノ改正等ニ關スル法律案要綱」ト云フモノヲ拜見致シマスルト、其ノ第三ニ「酒類ニ付テハ國家重要產業ニ從事スル勞務者等ニ對シ若干數量ヲ限り低廉ナル價格ヲ以テ供給スル爲特ニ稅率ヲ低クスルト共ニ酒類ノ生産及配給ニ付統制ヲ強化スルコト」トナツテ居リマス、即チ酒類ハ最早嗜好品ト云フバカリデナク、勞務對策トシテ取上げラレテ居ル譯デアリマス、即チ生產力増強ノ爲重要產業ニ從事スル勞務者ニ對シマシテハ此ノ特點ヲ與ヘマシテ、以テ其ノ能率増進ヲ圖ルコトト相成ダタノデアリマス、即チ戰力增强ノ急ナル今日ニ於キマシテハ、誠ニ機宜ニ應ジタ政策ナリト存ジマス、然ルニ「ヴィタミン・ビー・ワン」ハ必要不可缺ノ藥物デアラザルモノデアリ、殊ニ我が國ノ如ク米食ニ主食トスル場合ニ於キマシテハ、「ヴィタミン・ビー・ワン」ハ必要不可缺ノ藥物デアリマス、特ニ生產增强ニ邁進シテ居リマスル所ノ各種重要產業ノ從業員、勞務者ノ健康ト體力保全ト云フ爲ニハ此ノ種製劑ガ多量ニ實際ニ於テ應用セラレマシテ、好成績ヲ擧ゲテ居ルコトハ事實デアリマス、然ラバ之ニ課稅スルコトハ生產增强政策ト聊カ矛盾スルモノデアリハシナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、果シテ然ラバ、本劑ノ產業方面ノ需要ニ對シマシテハ、之ガ課稅ヲ免除スルトカ、少クトモ之ヲ輕減スル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、又女性「ホルモン」ニ付テ考ヘマシテモ右ト同様ノコトガ言ヘルノデアリマス、今日重要產業其ノ他ノ方面ニ從事致シマスル女性ハ、既ニ驚クベキ多數ニ上ボッテ居リマスルノミナラズ、益々增加ノ一途ヲ辿ツテ居ルノデアリマス、是等多數ノ女子勞務者ノ從業ニ依ル生理的變調ヲ防止スル爲本劑ヲ應用セ

ルコトモ亦事實デアリマス、仍テ是亦產業方面ノ需要ニ對シマシテハ、之ガ課稅ヲ除外スル必要ガアルト考ヘラレルノデアリマス、之ヲ要スルニ重要產業方面ノ勞務者ニ對シマシテ酒類ニ關シテノ特典ヲ與ヘマスルナラバ、右ト同様ノ理由ニ依リマシテ、是等「ヴィタミン」劑、女性「ホルモン」劑等ニ對シマシテモ、眞ノ產業方面ノ需要ニ對シマシテハ、之ガ課稅ヲ除外又ハ輕減スル必要ガアルデヤナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ主稅局長ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

辯ニ依リマシテ、是等ノ點ニ付テ相當御考慮ヲ拂ツテ戴イテ居ルト云フコトヲ伺ヒマシテ安心ヲ致シマシタ、尙一一點伺ヒタイノデアリマスガ、今回ノ増稅案ノ中ニ於キマシテ、特別行爲稅ガ創設セラレテ居リマスルコトハダイニ注目スベキ所デアルカト考ヘマス、尤モ此ノ本法案ニ付キマンシテハ、衆議院ニ於テ相當論議サレタヤウデアリマスカラ、私ハ彼此申シマセヌ、併シ今回ハ六項目ニ限定サレテ居リマスルガ、本稅ノ性質上將來非常ニ伸ビルト云フコトハ疑ノナイ

ガ多分ニアルノデハナイカ、又其ノ發展如ニ依ツテハ物品稅ト併セテ一般賣上稅ヲ根柢トナルモノデハナイカ、又直接稅ノ面ヲ見テモ相當行詰リノヤウナ狀態ガ感ズラレルガ、旁々以テ近イ將來ニ賣上稅ヲ創設スルト云フヤウナ考ガナイカト云フコトニ付テノ御尋デアリマスルノデ、私カラ一應所見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、今回提案致シテ居リマスル特別行爲稅法案ニキマシテ課稅ノ對象ト致シマシタノハ、他人ノ勞務ヲ煩シマスル奢侈的性質ノ濃厚アリマスル行爲ヲ課稅ノ對象ト致シタノニ

キマシテへ、相當收入ヲ擧ゲ得マスル所カラシテ、財政需要ノ増大ニ連レマシテ之ヲ起シタラ如何カト云フ問題ガゴザイマスノデ、主税當局トシテハ絶エズ之ノ研究ヲ續ケテ居ルノデゴザイマスガ、之ガ實施上一番問題ニナリマスルコトハ、賣買ノ都度課税ヲ行フト云フヤウナコトニナツテ居リマスルノデ、ソレノ實施ノ曉ニ於キマスル價格ノ問題、即チ物價問題ト云フコトガナカノ重大ナ問題トナツテ來ルノデアリマス、現在配給機構ノ整備ガ行ハレツ、アリ、各種ノ公定價格ニ付テモ次第ニ整備ヲ見ツ、アルノ

○政府委員(松隈秀雄君) 今回物品稅法ヲ改正スルニ當リマシテ、新タニ滋養強壯剤及口中劑ヲ第二種物品ノ丁類トシテ追加致シマシテ、百分ノ十程度ノ課稅ヲ致スノアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ只今御述ニナリマシタヤウニ、重要產業ニ從事スル労務者、ソレカラ婦女子等ノ榮養ヲ良クシテ、生産能率ヲ高メルト云フ必要ガアリ、又例ニハ御述ニナリマセヌデシタケレドモ、國民學校ノ虛弱兒童等デ「ヴィタミン」剤等ヲ補給スル必要ノアリマスル者ニ對シマシテモ、此ノ際新シク課稅スルコトニ依テ負擔ガ増スト云フコトニ相成リマスルコトハ如何カト思ハレノデ、其ノ點全ク御述ニナリマシタ趣旨ニハ同感デゴザイマスルノデ、物品稅法ノ施行規則ニ於キマシテ、滋養強壯剤ガ或一定ノ徑路、例ヘバ產報等ヲ通ジマシテ労務者ニ配給サレル、或ハ市區役所ニ課稅外ニスルト云フ規定ヲ置キタイト者ノ學校關係者ヲ通ジテ學校ノ兒童ニ配給サレルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、特

○課税ニ止シテ居リマスガ、將來ハ直接稅ノ形
ニ付キマシテ自ラ其ノ限度ガアリ、結局取
引稅ノ創設ニ迄發展セザルヲ得ナイト思フ
ノデアリマス、否、現在既ニ戰爭増稅ハ其ノ
創設ヲ要求シテ居ルモノトモ考ヘラレルノ
デアリマス、就キマシテヘ、此ノ特別行爲
稅ヲ將來如何ニ發展セシメテ行カレル御考
デアルカト云フ點ニ付テ伺ヒタノデアリ
マス、是ハ速記ヲ中止シテ、又主稅局長ノ率
直ナル御見透シノ程ヲバ御説明願ヒタイト、
斯様ニ思フノデアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) ソレデハ速記ヲ
チヨット停止シテ戴キタイ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ
〔速記中止〕

アリマシテ、此ノ種ノ課稅ノ對象ト致シテ
カト思フノデアリマス、唯外國ノ此ノ種ニ
課稅ハ、一般賣上稅法中ニ規定サレテ居リ
マスル關係上、本法案ニ於テ列舉サレテ居リ
マスルヤウナモノヨリモ、更ニ其ノ課稅ノ
範圍ガ廣クアリマシテ、一般商行爲ニ基ク
引、即チ仲立料デアルトカ、或ハ周旋料デ
ルトカ、或ハ各種ノ手數料デアルトカ、今回規
定案サレマシタ特別行爲稅法ノ趣旨カラ致シ
マスレバ、ソレ等ノ商行爲ニ基キマスル分
爲ノ對價トシテ受取ルヤウナモノヲ課稅ノ
對象トシテ之ニ附加ヘルコトハ、法文ノ
裁上如何カト思ハレルノデゴザイマス、ソ
レナラバ寧ロ特別行爲稅法ト物品稅法トヨ
併セテ一般賣上稅ニスルト云フコトナラバ
出來ルデハナイカト云フ御話デアリマスガ
シテハ、漏レテ居ルモノハ些々タルモノニ
アリマシテ、餘り多ク拾ヒ入レル餘地ハナイン

デアリマスルガ、何トシマシテモ、マダ此ノ配給機構ニシマシテモ、價格問題ニシテモ、非常ニ厖大デアリ、或ヘ數が多く、ナニ手ヲ著ケルト云フコトハ容易ナラザル問題デアリマス、將來ノ問題ト致シマシテハ、是等ノモノガ漸次整備ヲサレ、簡單化サレルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、賣上稅實施ノ影響モ餘程減ツテ參ルノデハナイカト思フノデアリマス、尙直接稅ニ於キマスル餘力ノ問題ト致シマシテハ、現在ノ日本ノ分類所得稅ハ、之ヲ外國ニ較ベテ見マスル時ニ、必ズシモ非常ニ高イトハ言ヘナイト思ヒマス、或程度之ヲ上ゲ得ル餘地ガアルノデアリマスルガ、併シ分類所得稅ヲ上ゲマスレバ、綜合所得稅ト併セテ納メル人ニ付キマシテハ、綜合所得稅ノ最高稅率ガ既ニ分類ト併セル時ニ百分ノ八十八トナツテ居リマスルカラシテ、分類所得稅ダケヌヲ上ゲマシテモ、上ノ方ハ頭ガ闇ヘルト云フヤウナ狀況ニナリマスルノデ、分類所得稅ノ上ヶ方如何ニ依リマシテハ、綜合所得稅ノ戻程更別ニ云フアリ、限毛支

○子爵梅園篤彦君　只今ノ主税局長ノ御答
へ元月九次第アリマス

今回政府大特別行爲税法案予擬案シテ居ルノデアルガ、是ハ更ニ擴大強化サレル見込

是ハ総局賣上稅元倉設フルニトカ宣イ力亞
イカト云フ問題デアリマシテ、賣上稅ニ付

移ノ豆云更程度タルト云ニヤウナ謀移接術上相當考慮ヲ要スル問題ハアリマス、何

ノデアリマス、ソコデ之ニ對シテ或程度ノ
所得稅等ノ輕減ノ出來マスヤウナ法律ヲ置
イテ居リマス、ソレカラ時局ノ要請ニ依リ
マスル場合、山林ヲ伐シマシタ場合ニ於
キマシテ、所得稅等ノ計算ニ付テ特例ヲ設
ケルコトニ致シテ居ルノデアリマス、次ニ
法人ガ額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シ
タ場合、即チ「プレミアム」ヲ法人ガ受入レ
マシタ場合ニ付キマシテ、所得稅等ノ計算
上特例ヲ設ケテ居ルト云フヤウナ點ガ今回
改正ノ主ナル點ゴザイマス

○橋本辰二郎君 大體諒解致シマシタガ、
之ニ矢張リ關聯ヲシテ居リマスル問題ニア
リマスルガ、減價償却ノ問題ニアリマス、
近來ノ企業ト云モノハ非常ニ建設費即チ
固定資本が過去ニ於ケルモノト較ベテ見マ
スト、四五倍モ要スルモノガ少クナイノデア
リマス、之ニ付キマシテハ相當ナル償却率
ヲ前年御定メニナッテ居リマスルガ、其ノ
後事業ノ擴張、新設ハ益、急ヲ告ゲテ居リマ
シテ、到ル處ニ設備ノ増設、新設等ヲ見テ
居リマス、是等ニ對シマシテ前ニ御定メニ
ナリマシタ所ノ償却率ヲ以テ滿足セラル、
マシテ、適當ニ改正ヲスルト云フ御意思ガ
アリマセウカ、又實情ヲ御調査ニナリ
二割方短縮致シマシテ改正ヲセラレマシタ、
又臨時租稅措置法ノ中ニハ特別償却、即チ
三年間ニ三分ノ一ヲ特ニ償却シ得ルト云フ
二割方短縮致シマシテ改正ヲセラレマシタ、
規定モゴザイマスルノデ、現在ノ狀況ヲ以

テ致シマスレバ、此ノ程度ノ改訂ヲ以テ一
應適當デアラウト存ジテ居ルノデアリマス
ルガ、減價償却ノ問題ニ付キマシテハ、成
ルベクソレガ釘付ケニナラズ、時勢ノ變化
ニ應ジテ適實ヲ期スルト云フコトガ必要デ
アリマス、殊ニ減價償却率ノ改訂ハ法律ノ
問題デハゴザイマセヌ、取扱ノ問題デアリ
マスルノデ、今後ノ状況ノ推移ニ應ジテ不
適當ナ點ガゴザイマスヤウデアレバ、適當
ナル改正ヲ加ヘルコトハ考慮ノ餘地ガアラ
ウト思ヒマス

○橋本辰二郎君 御答辯ヲ承リマシテ私共

幾分安心ヲ致シマシタ、何レニ致シマシテ

モ、時局産業ト云フモノハ非常ニ犠牲ヲ拂ッ

テヤッテ居リマスル工業ガ多分ヲ占メテ居リ

マスノデ、其ノ減價償却ト云フコトニ付テ

ハ、特ニ肝要ナル御考ヘヲ持ツテ適正ナル

償却ヲ御許シニナルヤウニ將來トモ御願ヒ

マスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 宜シウゴザイ

マス

○橋本辰二郎君 ソレカラ物品稅ニ關シマ

シテ御尋ネ政シタイト思ヒマス、物品稅中

ニ第一種乙類ノ物品ニ付キマシテハ、前項

ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ其ノ價格ノ百分

ノ六十ノ税率ニ依ルト云フコトガアリマス

ルガ……

○政府委員(松隈秀雄君) チヨット速記ヲ

止メテ戴キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メ

テ

午後二時三十六分速記中止

午後三時速記開始

リマスカ

マス

○政府委員(松隈秀雄君) 命令ノ内容ハ先

マス

程申上ゲタ通りデアリマスカラ、仰セノ通

リ

マス

ト考ヘラレルノデアリマス、マア一般不動産等ハ能ク存ジマセヌガ、鑛業權等ニ於キマシテハチヨイ／＼其ノ例ガアルノデアリマスガ、個人ガ多年ニ亘ツテ苦心致シマシタ結果其ノ鑛物ヲ發見シ、且自ラ之ヲ開發シテ、サウシテ營々トシテ經營シテ居ルト云フコトガ屢々アルノデアリマス、之ヲ此ノ戰時統制ノ便宜上、法人組織ニ改メルヤウニ懲憲セラレル場合ガアルノデアリマシテ、斯ウ云フ場合ニ業者ハ鑛區ヲ便宜上評價シマシテ、現物出資ヲ行フニ過ギヌノデアリマス、何等利得ヲ得ルモノデヘナインデアリマスノデ、單ニ法制上ノ形態ヲ改メルニ過ギヌノデアリマスルカラ、當然免稅措置ノ特例ヲ設ケラレテ然ルベキモノダラウト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ承テ置キタイト思フノデアリマス○政府委員(松隈秀雄君)只今ノ御意見ハ、讓渡利得ニ課稅スル場合ニ於キマスル讓渡ノ觀念ニ關シマスルモノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ御説御尤モナ點モアルノデアリマスルガ、現在ノ取扱ト致シマシテハ、個人經營ヲ法人組織ニ改組致シマシタ場合ニ於テ、一見何等利得ヲ得タモノヤウニ見エナイヤウデアリマスルケレドモ、建前ト致シマシテハ、個人ト法人トハ人格ヲ異ニシテ居ルノデアリマスルノデ、其ノ場合ニ現物出資ヲ致シマシテ、出資價格ガ取得價格ヲ超過シテ居ルト云フコトデアリマスレバ、其處ニ讓渡利得ガ發生シタモノトシテ課稅セザルヲ得ナイヤウナ状況デアリマスレバ、讓渡利得ノ輕減ヲ受ケマ

○中野敏雄君 是デ私ノ質問ハ終リマス
○橋本辰二郎君 先ニ私ハ國民所得ノ算定ノ内容ニ付テ詳細ナル御説明ヲ得タイトイ云
フ希望ヲ述べマシタ處ガ、他日政府委員ヲシテ説明セシムルト云フ御話デアリマシタケレドモ、明日デモ適當ノ時機ニ於キマシテ御願ヒ致シタイト思ヒマス
○中野敏雄君 主税局長ニチヨット伺ヅテ置キタイト思ヒマスガ、今度酒屋ノ小賣、酒類販賣業ノ整理ヲオヤリニナッテ、此ノ正月カラ急ニ業者ガ殖エタ所ガ非常ニ多イノデアリマスガ、私ハ佐賀縣デアリマスガ、佐賀縣デハ今迄中小商工業ノ整理ト云フコトデ、酒屋等モ相當ニ整理ヲ致シマシテ、或町ノ如キハ、人口一萬一千、戸數約二千戸アルノデアリマスガ、ソレニ對シテ整理ヲシテ大體三軒位ニ酒ノ販賣業者ガナツテ居タルノデアリマス、サウシテ其ノ整理ヲセラレタ人達モ、或ハ満洲ニ轉業スルトカ、或ハ會社員ニナルトカ、大イニ勇躍シテ、マア轉業ノ戰士トシテソレドヽノ道ニ轉業セラレタノデアリマスルガ、此ノ正月ニナリマシタ處ガ、戸數二百五十戸乃至三百戸ニ酒屋ヲ一軒ト云フコトニセラレタ爲ニ、今度又激減ニ酒屋ガ殖エテ來タ、其ノ町デ從來三軒カ四軒シカナカツタノガ、此ノ正月カラ急ニ八軒ニナックノデアリマス、殊ニ其ノ郡デハ五十七八軒シカナカツタ酒屋ガ、今度急激ニ百何軒カニ殖エタノデアリマス、是ハ一方整理ヲスル、サウシテ整理ヲセラレタ人ハ時局ヲ認識シテ勇躍シテ轉業ヲシタ、處ガ其ノ後カラ又急ニオ殖シニナルト云フコトガ私共能ク分ラヌノデアリマスガ、殊ニ此ノ酒屋ノ問題ナゾハ、現在一軒ノ酒

箇月ニ配給サレル酒ノ量ヘ大體一升デアリ
マスルカラ、一箇月ノ商賣ガ大體三石ト云
フコトニナルノデアリマス、三石デハ丸公
デ販賣シマスト云フト、卸カラ小賣ニシマ
ス場合ヘ、大體二十圓ノ所得ガ其處ニ出テ
來ルノデアリマスガ、是ガマア樽ガ吸ツタ
リ、或ハ枡減リガアツタリシテ、ソレガ非
常ニ少クナリマシテ、大體一石ニ付テ十五
圓位ノ鞘シカナイノデアリマス、デアリマ
スカラ三石ノ商賣トスルト云フト、一箇月
ニ四十五圓ノ商賣シカ出來ナイ、ソレデハ
ドウシテモ立ツテ行カヌノデ、結局金魚酒
ヲ賣ラザルヲ得ヌト云フヤウナコトニモナ
ルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデア
リマス、何デモ東京デハ色々兼業ヲヤツテ
居ル、味噌醤油ヲ一緒ニ兼業ニシテ居ルト云
フコトデアルノデ、モット收入ハ殖エルノ
ダト云フヤウナ御話モ聞クノデアリマス
ルガ、田舎デハサウ云ツタ兼業ヲヤツテ居ル
ノハ非常ニ少イノデアリマシテ、マア「ビ
ール」ダトカ、或ハ「サイダー」ヲ一緒ニ
賣ツテ居ル店ハ相當ニアリマスルケレドモ、
今日デハ其ノ「ビール」、「サイダー」ノ配給
等モ非常ニ減ツテ居リマシテ、恐ラク二百五
十戸乃至三百戸ノ戸數デハ逆モヤツテ行ケ
スノデヤナイカ、ソレヲ都會ト同ジヤウニ
田舎モ畫一ニオヤリニナルト云フ所ニ非常
ニ私ハ無理ガアルノデヤナイカト云フコト
ヲ考ヘルノデアリマスルガ、今度地方ヲ廻
リマシテ、サウ言ツタ苦情ヲ相當方々デ聞イ
タノデアリマスガ、何カ其ノ點ニ付テ御考
ヲ承ツテ置ケレバ幸ト思ヒマス

ザイマス、實へ其ノ前ニ地方ニ依リマシテ、進ンデ整理ヲ實施シタ處モゴザイマシテ、其ノ行キ方ガ相當強ク整理ヲ致シマシタ爲ニ、而モ轉廢業者ノ就職先等ニ付テノ斡旋モ十分出來ズ、又消費者ノ不便等モ顧ミナ、イデ實施サレタト云フヤウナ處カラ、相當不平不満ノ聲ガ起シタノデゴザイマス、ソコデ中央ノ問題トシテ取上ゲラレマシテ、企畫院ニ於キマシテ關係各省集リマシテ、慎重案ヲ練リマスルト共ニ、特ニ閣議ノ決定モ請ヒマシテ大體ノ方針ヲ確定致シマシタ、ソレニ基イテ各省デ具體的立案ヲ致シタノデゴザイマスルガ、酒類小賣商ニ付キマシテハ大藏省ト致シマシテハ、兩方ノ觀點カラ案ヲ立テルヤウニシタノデアリマス、即チ消費者ノ便宜モ或程度考ヘナケレバナラナイ、一方適正配給ヲサセマスル爲ニハ、殘ツタ業者ガ適正經營規模デヤッテ行ケル程度ニシナクテハナラスト、斯様ニ考ヘマシテ、其ノ標準ヲ只今御話ニモアリマシタ通り、大體六大都市等、密集地域デハ三百戸、其ノ他ノ市部集團地域デハ二百五十戸、町部集團地域ハ二百戸、村落地域ハ百戸ト云ふヤウナ標準ヲ以テ整理案ヲ立テタラバト云フノデ、内示致シタノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ、此ノ程度ノ戸數ヲ受持ツコトデアリマスレバ、消費者モサウ遠ク迄貿ヒニ行カズニ濟ム、只今ソレデハ酒屋ガ暮セナイト云フ御話デアリマシタガ、シマシタ處ニ依リマスト云フト、六太都中、スルト云フト、酒トソレカラ兼業ノ味喰、醤油、其ノ他ノ雜品ノ利益ヲ併セテ見マス

ルト云フト、一年千六百圓バカリノ所得ガアルヤウデゴザイマス二百五十戸ヲ受持ッタ地域デ申シマスト云フト、千三百圓ノ利益ガアルヤウデゴザイマスノデ、大體此ノ程度デアルナラバヤツテ行ケル、ソコデサウ澤山減ラシ過ギテ物議ヲ起スノモ如何カト思ヒマシテ、一應ノ標準ヲ決メタ譯デゴザイマス、尙之ヲ實際ニ各府縣ニ付テ見マスルニハ既ニ或程度實施ヲ致シマシタ府縣ト、マダ全然實施ヲシテ居ナイ府縣ト、ソレカラ只今御話ノヤウニ、兼業者ノ多イ府縣ト、サウデハナクテ專業者ノ多イ府縣トデ状況ガ違ヒマスルノデ、是ハ一應ノ標準デアリマシテ、之ヲ適用スルニ當リマシテハ、能ク從來ドウ云フ整理ラシタカ、或ハ其ノ業者ノ利益ガ其ノ地方デハ幾ラニナリサウデアルカト云フ點迄加味シテ、内案ヲ作ルヤウニ指導シテ參ツテ來テハ居ルノデゴザイマスルガ、佐賀縣ノ實情ハ只今御述ニナリマシタヤウニ、第一次整理デ非常ニ減ラシ過ギマシタモノデスカラ、其ノ點ヲ考慮シテ案ハ立テタンダラウト思ヒマスケレドモ、結果トシテハ却テ第一次整理ヨリモ殖エテ居ルヤウナ譯デアリマス、東京ニ於キマシテモ同ジヤウニ、第一次整理トシテ指定配給所ヲ作ツタ、其ノ數ヨリモ結果ハ殖エテ居リマスルガ、全國デ申シマスルト、サウ云フ所ハ全ク例外デアリマシテ、酒類小賣業者數ハ相當減ルコトニ相成ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

○中野敏雄君 只今御指導ノ根本ノ御精神ヲ承テ至極同感ニ堪ヘナイノデアリマスガ、何卒ソレヲ一つ宜シク、其ノ整理ニ當ル各官廳ニ對シマシテ十分ニ其ノ御意思ヲ周知徹底セシムルヤウナ御方策ヲ是非一つ御執

リテ遺漏ナイ御施策ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 山林局長ニ御尋ネ致シマスガ、今度山林ハ非常ニ伐木ニナリマスガ、政府ノ指示ハドノ位増伐サレルコトニナリマセウカ、「ハーセンデーデ」デモ何デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(井出正孝君) 昭和十八年度ニ對シマシテ用材及薪炭ノ部分ニ付テ相當增加ヲ民有林方面ニ考ヘテ居リマスルカラシテ、用材方面ニ付キマシテハ前年ノ生産量ト申シマスカ、十七年ノ生産量ニ對シテ一千萬石程度以上ノ増伐ハ是非致シタイト云フ積リテ、是ハ民有林カラ其ノ程度ノ増伐ハ致シタイ積リテ居リマス、十七年度ニ於キマスル生産量ハ、マア大體北海道ヲ合セガラ此ノ施業案及び植伐計畫上ニ於キマスル年伐採量トシテ決シテ居リマスルモノニ對シマシテハ、大體約三割乃至五割ノ増伐ニ相成ルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタガ、ノデアリマスカ、大體ノ御説明ヲ願ヒタイ、若シイケナケレバ速記ヲ止メテモ宜シウゴザイマス、ソレハ御隨意ニ

○政府委員(井出正孝君) 是ハ十七年度ノ木材ノ需給狀況並ニ是カラ更ニ推定セラレマスル十八年度ニ於キマスル木材ノ需給狀況上、現下ノ戰爭ノ爲ニ必要ナル戰力ヲ増強致シマス爲ニ木材ニ非常ナ需要ガ增大致シテ參ツテ居リマス、之ヲ賄ヒマス爲ニ主トシテ斯様ナ生産ノ増加ヲ考ヘテ行カナケレ

○子爵大河内輝耕君 ソレハ能ク分ッテ居ルノデス、具體的ニドウ云フ用途デアルカト云フコトヲ伺ッテ居ル、速記ヲ止メテ下サイニナリマセウカ、「ハーセンデーデ」デモ何

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ○子爵大河内輝耕君 今度ノアノ臨時措置法デ、大分山林ノコトヲ大藏省ニ考ヘラレタコトハ私ハ大變機宜ヲ得タコトト存ジマス、併シ私トシテハモウ一步進ヌル御考案ガ何故ナカッタノカ、是ハ農林省ノ當局者ニ伺フ、「一萬圓伐タモノ」今度二萬圓伐ルト云フコトニナリマスト、ソレダケ累進ガ掛ル、今ノ御話ニ依リマスト色々ナ重要ナ使途ニ當テル爲ニ、重要ト云フヨリモナクチヤナラヌ方ニ當テル爲ニ、好ムト好マザルトニ拘ラズ伐ラナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ狀態デアルノニ累進ヲ掛ケラレチヤナカノ敵ハナイ、ソレデトウ云フ風ニナックテ居リマスカ、私共ノ先ヅ愚案ヲ申セバ施業案デ決リマシタモノハ、例ヘバ一萬圓伐ツタモノニ付テ一萬五千圓ダケ伐ルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、其ノ五千圓ニ付テハ矢張リ一萬圓ノ税率ニ依ツテ御掛けニナルノガ當然デヤナイカ、五千圓ト云フモノハ好ムト好マザルニ拘ラズ伐ラナケレバナラヌ、ソレカラ立木採伐計畫ニ依ル五箇年平均ノ採伐適材ニ對スル收入ニ基イテヤル方ノモノハソレニ依ツテ算出シタ税率ニ付キマシテ、增加シタ分ニ付テモ御採豫定計畫ハ年ニ一萬圓デアルケレドモ、得ニ限ツテハ、二割ヲ引イテ計算スルト云フコトニナツテ居リマス、デ只今御述ニナリマシタ例デアレバ、主務官廳ノ定メマシタ、伐採豫定計畫ハ年ニ一萬圓デアルケレドモ、更ニ増伐ノ指導幹旋ヲ受ケマシテ、五千圓餘計伐タト云フ場合ニ於キマシテハ、一萬圓ヲ超エマスル五千圓ニ付キマシテ、二割ヲ引キマシテ四千圓トシテ、普通デアレバ一萬五千圓ニ對シテ課稅スル所ヲ、一萬四千圓ニ對シテ課稅スルト云フ趣旨ニ相成ツテ

居リマス、其ノ場合ニ於キマシテ、勿論山林所得デアリマスルカラ他ノ所得トハ區分致シマシテ、五ツニ分ケテ税率ヲ適用シテ、五倍スルト云フヤウナコトヲ致シマスルノデ、マア相當租稅ノ輕減ニハ相成ル、斯様ニ存ジマシテ、此ノ程度ノ輕減デ、或ハマダ御不満カモ知レマセヌケレドモ、矢張リ所得ガアツ、擔稅力ハアルノデアリマスルカラ其ノ擔稅力ノ方面ニモ著眼シ、旁ノ重要政策ノ促進モ圖ルト云フヤウナ、其ノ間ノ調和ヲ取ルトシテハ、マア此ノ程度ノコトヲスルノガ適當カト存ジマシテ、提案ヲ致シタヤウナ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君　實ハソレハ能ク私ハ存ジテ居ルノデス、今御説明ヲ伺フ迄モナク存ジテ居ル、存ジテ居リマスケレドモ、計算致シマスト大藏省ノ案ハ、前ニ私ノ言ツタ案ヨリハズクト高クナル、私ノ言ツタ案ニ依ツテ課稅サルベキガ當然デハアルマイカ、何故カト云フト好ムト好マザルトニ拘ラズソレダケ伐ラサレルノデスカラ、ソレニ依ツテ累進ヲ掛ケルト云フコトモ言ヘナイ、又ソレノミナラズ他ノモノト違ヒマシテ、山林ト云フモノハ或程度ヨリ餘計増伐スルト云フト、ソレガ元ニ喰ヒ込ム、ノデスカラ、本人トシテハ誠ニ迷惑千萬、ソレニ餘計ノ稅ヲ取ルト云フコトハ意味ヲ成サナイコトニナルト考ヘル、是ハ大藏省ガサウ云フ斟酌ヲサレタコトハ能ク私モ存ジテ居ル、誠ニ機宜ニ適シタモノデアルト云フコトハ申シタノデスガ、山林政策ノ點カラ、山林當局トシテ放ツテ置クト云フコトハ無責任ト云ツテ

ハ惡イガ、面白クナイ、コンナモノハベイ
宜シウゴザイマスト言ヘレタコトハ、私ハ
誠ニ遺憾ニ思フ、其ノ點ヲ農林當局ニ伺フ
私ノ言フコトガ間違ツテ居ルトスレバ、御指
摘ヲ願ヒタイ

○政府委員(井出正孝君) 此ノ度木材ノ、
先程申シマシタヤウナ國ノ要請ニ於キ
マシテ、森林所有者ニ、相當ニ今後施
業案、或ハソレニ準ズル植伐計畫上ノ限度
ヲ超エテ、臨時ニ相當伐採ヲ強ク勸奨致シ
テ參ラナケレバナラナイト思ヒマシテ、從
ヒマンテ今御話ノヤウナ點ニ付キマシテ、
森林所有者トシテ相當大キナ犠牲ヲ此ノ際
忍シニ、國ノ要請スル木材ノ生産ヲ積極的
ニ實行シテ參ルコトニ今ヤッテ參ルノデアリ
マスルガ、之ヲ致シテ參ルノデアリマスノ
デ、言換ヘマスレバ、斯様ナ民有林ノ森林
所有者ノ積極的ナ或程度ノ犠牲等ヲモ領ッ
テ、木材増産ヲ致シテ參ラナケレバナラナ
イ時デアリマスルノデ、出來得ル限り之ヲ
致シマス爲ニ生ズル森林所有者ノ努力、或
ハサウデナケレバ更ニモウ少シ經濟上ノ收
益等ガ他日アルノラ犠牲ニスルト云フコト
ニ對シテハ、出來ルダケノニ對スル親心
的ナ措置ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、左様ナ考ヘ方カラ、此ノ臨
時措置ノ立法モ大藏御當局ト御相談致シマ
シテ、御願ヲ致シタノデアリマシテ、之ヲ
以テ民有林ノ所有者ノ時局ニ於ケル木材增
産ニ對スル色々ハレル犠牲ニ對シテ、十
分ニ酬ヒラレテ居ルカドウカニ付キマシテ
ハ、或ハ不滿ト云フ風ニ見ラレル點モアル
カト思ヒマスルガ、此ノ際トシテハドウモ
此ノ程度ヨリ已ムヲ得ナカツタカト感ジタ
ノデアリマス、唯折角親心デ出來マシタ今

回ノ臨時措置ニ依ル増伐ニ對スル免稅ト申シマスカ、輕減措置ハ出來ルダケ斯様ニ動キマスル森林所有者ニ簡便ニ均霑出來ルヤウニ、私共トシテハ關係御當局等ニ御願ヒシ、又協力シテ、サウ云フ風ニ此ノ範圍ニ於キマシテ、十分均霑ノ出來マスルヤウナ措置ヲ、色々又御願ヒシタイ積リデ居ルノデアリマス。

○子爵大河内輝耕君 極メテ婉曲ナ御説明デゴザイマスルガ、當局ノ御趣旨ハ私モ大體分リマシタ、殊ニ財政當局ガソレニ付テハ非常ニ同情ヲ以テ見ラレタト云フコトハ言外ニ現レテ居リマス、能ク私ハ了承致シマシタ、ソレデ一ツ尙山林局長ニ伺ヒマスガ、今ノ施業案ニナイモノハ別トシテ、施業案ノアルモノニ付テハ、何如デゴザイマセウカ、段々研究シテ參ルト云フト、年々増伐ヲシテ、加ヘテ參リマシテ、ドウ云フ標準ニ進デソレヲ御決メナルカ、ナカ／＼ムツカシイコトグラウト思フ、時局ガ斯ウ働イテ、木材ノ方ハ好ムト好マザルトニ拘ラズ、澤山伐ラナケレバナラナイト云フ時ヲ標準ト致シマヌルト、甚ダドウモ課稅標準ニシマスト云フト大變大キナコトニナリマスノデ、寧ロズット前ニナルニ從ッテ、段々實際ノ調フシテ見マススト、先ヅ昭和十年カラ十二年位迄、支那事變ノ始ル頃迄ハ之ヲ平年度ニ見テモ宜シイヤウデアリマスガ、大體十年カラ十二年位迄ノ三年ノ平均製材量ヲ標準トシテ、私ノ言フコトガ假ニ良イノダトスレバ、詰リ此ノ稅率ニ依テ大掛ケナル、ソレカラ又大藏省ノ案ニ依テモ同じ案モナケレバ伐採計畫モナイヤウナモノニ付キマシテハソレニ依ッテヤラレルノガ當

然デヤアルマイカト思マヒス、此ノ點ハマダ、是ハ私ノ見違ヒカモ知レマセヌケレドモ、成文ニハ規定ガナクテ、是カラ決ルノグラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ山林當局ノ御考ヲ伺ヒタインヂズス、是ハ林務行政ニナリマスガ、如何デスカ、サウ見ルノガ相當デヘナイカト思ヒマス

○政府委員(井出正孝君) 施業案或ハ立木ノ伐採計畫ニ依リマシテ、年々ノ伐採量ヲ限度ガマダ定メテナイ場所ニ付テノ、森林ノ伐採ノ結果ノ所得ニ付テハドウナルカト云フ御尋ノヤウニ存ジマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、色々大藏御當局トモ御相談ヲ致シテハ見タ問題ナノデアリマスルガ、大體私共ノ考ヘマス所ニ依リマスレバ、現在所謂施業案及ビ其ノ簡単ナル施業案デアリマス森林ニ屬シマスル部分デ、北海道ハ別ニ致シマシテ、内地ノ府縣ニ付キマシテ、現在全體ノ森林ノ面積ハ約八割ニ、實ハ八割以上ニ上ツテ居ルノデアリマス、アトニ割足ラズノ分ニ付キマシテ、只今御話ノヤウナ間ル立木伐採計畫ガ立ツテ居リマスルモノガ、題ガ起ルト存ズルノデアリマス、此ノアト二割程度ノ、マダ施業案或ハ伐採計畫ガ出来テ居リマセヌ場所ニ付キマシテモ、只今出來ルダケ早ク伐採計畫ヲ、少クトモ立テルノデアリマシテ、マア全體ノ森林カラ申シマスルト、既ニ極ク僅カノ部分ニモ屬シ體殘ツテ居リマスル場所ハ同ジ森林ノ中デモ比較的低地等ニアリマスル森林等ガ残ツテ居テ居リマスルノデ、先程主税局長カラ此ノ一定ノ限度ガマダ決ツテマセヌノデ、チヨツ

ト今度ノ臨時措置ニ依ル減税ニ直チニ引掛
ラナイヤウニ思フノデアリマス、唯其ノ場
合ニ、今御話ノゴザイマシタヤウニ、其ノ
部分ハ過去ノ實績ノ或程度ノ平均ト比較シ
テ之ヲヤルカドウカト云フコトニ付キマ
シテハ、私共ト致シマシテ、サウ願ヘレバ
ソレモ一ツノ考へ方トハ存ズルノデアリマス
ルガ、果シテ課稅ヲ致シマスル方面カラノ
色々ナ御關係カラ、ソレデ宜イカドウカハ
チヨットハツキリ致シマセヌ

マセヌシ、ソレカラ收入ヲ得ル方向ガ、
戰時ノ經濟ガ戰力増強ノ爲ニ集中サレル
コトヲ助ケルヤウナ意味デ參ラナケレバナ
リマセマノデ、平時ト違テ其ノ點ニ重キ
ヲ置クト云フコトヲ申シタノデアリマス、
マア收入モナカヽ大切实デアリマスカラ其
ノ點ヲ考ヘナガラ、收入ニモ出來ルダケ
努メテ行キタイ、マア形容的ニハ平時カラ
見レバ收入ハ第二ト云フヤウナ言ヒ方ヲ新
聞ナンカデ出テ居リマスルガ、第二ダカラ
シテマア咸ツタテ講ハナイト云フ風ニ考ヘ

「ミゼラブル」ナモノデス、ドウモ此ノ課稅法ト云フモノハ、何時モ問題ニナッテ來テ、販賣法ガ惡イト言ツチヤソレッキリデスガ、隨分儲カラナイカラ出ナイト云フ評判ガアツタ、餘計ナコトヲ言フヤウデスクレドモ統制會ノ問題ナドモ困ツテ居ラレルダラ、ウト思フ、重要產業ノ中デモ誠ニ足弱ナモノデアルコトハ、是ハナンデセウネ、農林當局ハ無論御認メデセウネ

○政府委員(井出正孝君) 此ノ森林所有者ノ立場ハ御話ノヤウニ、非常ニ木才ノ公定

○政府委員(松隈秀雄君) 山林所得ニ付キ
マシテ先程モ申上ダマシタ通り、他ノ所得ト
合算シナイバカリデナク五分五乗スル方
式ヲ立テ居リマスル爲ニ、租稅負擔ハ他
ノ所得ニ比シテ相當輕クナツテ居ルノデア
リマスルカラ、是以上特別ノ措置ヲ講ジマ
スルト云フト、又他ノ所得トノ釣合ヲ失ス
ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレマス、
ソレカラ五分五乗スルト云フ精神ハ、永イ
間ノ所得ガ偶ニ出タク云フ時ニ、普通ノ所

卷之三

卷之三

卷之三

周易傳說彙考 卷之三

ハ龍ク分リマシタ、財政當局ニ於テモ是非常ニ重キヲ置イテ居ラレルト云フコトモ能ク分リマシタ、ソレデ大藏大臣ニ伺ヒマスルガ、是ハ場合ニ依リマシタラ、私速記ヲ後カラ削ツテモ宜ノデアリマスガ、別ニ差支モナカラウト思ヒマスガ、私ハ租稅ノ稅法ノ建方ハ斯ウ云フ風ニ解釋シテ居ツタ、收入ト云フモノハ第二デ宜ノダガ、寧ロ濫費ヲサセナイ、又一方ニハ生産擴充ヲヤツテ行カウト云フコトヲ第一ニ置イテ、サウシテ收入ト云フヤウナモノハドウセ足リナシノダカラ、他日財政ノ計畫ヲ確立スル場合ハ格別、サウデナケレバ其ノ方ヘニテ次ニ置クト云フ位ノ實ハ私ハ其ノ頭デ居タノデスシ、新聞等ニ書イテアルコトモ、能クソンナヤウナコトヲ言ツテ居ツタノデスガ、如何ナモノデセウカ、大藏大臣ノ大體ノ御考ヲ伺ヒタインヂス

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ收入モナカナカ大事デアリマシテ、出來ルダケ租稅收入ニ依ツテ賄フト云フコトガ大事デアリマス、唯收入ニノミ專念スル譯ニハ參リマセヌノデ、他ノ經濟政策方圓満ニ行ハレマスガ、ヤウニト云フコトモ考ヘナケレバナリ

マスト云フト、ドウモソコガイカヌノデ
ナイカト思ヒマス、或重要産業ナラバド
シナコトヲシテモ減シテモ宜イ、大イニ利益
モノヲ與、ヘテモ宜イト云フヤウナ風ニ假ニ考
ヘラレル意見ガアルトシマシテモ、ナカノ
重要産業ノ中デモ利益ノアルモノガアルノ
デ、負擔力ガアルモノハ負擔ヲ増サナケレ
バナラヌト思ヒマス、唯無理ナ負擔ヲサシ
テ、所謂眞面目ニ經營シテモ損ヲスルヤウ
ナコトシテニ置イテ、増産ヲシロト言ツテ
モ、ナカノ無理ナ話ニアリマスカラ、是
ハ適正ナ利益ヲ考ヘナケレバナラヌガ、重
要産業ニナシテ居ルノダカラ税モ負ケロ、補
助金モ出ス、何ト言ヒマスカ、何モ彼モト
云フノハ行過デアルカラ、其處ハ適正ニ考
ヘテ行ヒタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 重要産業モ成ル程御
話ノ通り非常ニ是ハ生キタ經濟デスカラ、
幾ラ價格ヲ制限シテモ儲ケルモノハ儲ケル、
モノハ重要産業ノ中デモ、誠ニサウ言ツチヤ
是ハ仕様ガナイ、重要産業デモ儲ケル者ガア
ル、ソレニ對スル相當ノ課稅ハスルノハ宜
イト思ヒマスガ、ドウデスカ、山林ト云フ
山林局長ヲ眼ノ前ニ置イテ何デスガ、誠ニ

價格ガ一面ニ抑ヘラレテ居リマシテ、ソレカラ所謂木材ノ市場價格ノ逆算デ、運賃、労力賃其ノ他ヲ伐木造材シテ居ルモノヲ差引イタ最後ニ残ヅタ價值ガ、立木價格ニナルト云フノガ、實際ノ立木價格ノ評價ノ骨子ノヤウニナラザルヲ得ナイノデ、其ノ關係カラ御話ノヤウニ、一方木材ヲ生産シテ來マス今ノヤヤウ經費ガ、是ハドウシテモ運賃ガ騰リ、或ハ勞賃ガ事實騰ルト云フヤウナ關係デ、立木價格其ノモノガ、木材ノ價格ハ公定サレテ居リマスル關係デ、立木價格ニ結局喰込ンデ來ルト云フ狀態ガアリマスルコトハ、極メテ木材ノ生産ヲ増強致シマス場合ニ於キマシテ、最モ困難ヲ感ジテ居ルト云フ意味ニ考ヘテ居リマス
○子爵大河内輝耕君 ソレデ私ハ何モ自分ノ案ヲ此處へ持出シテ、ソレヲ固執スル考モ無論アリマセヌシ、無論大藏省ノ案ヲ、折角衆議院迄通ツテ來タモノヲ、此處デ直サウト云フ考モアリマセヌ、併シ假ニデス、之ヲ直シテシマシテ私ノ言フヤウニスルトシマスレバ、是ハ主税局長デ結構ズガ、何カ課税技術上他ノモノト權衡ヲ得ヌト云フヤウナ點デモゴザイマセウカ、其ノ點ヲ簡

コトデアリマスガ、最近ニ於キマスル山林
所有者ノ状況ヲ見マレバ、少シ大キナ山林
所得ヲ擧ゲマスルヤウナモノハ、皆何レモ
施業案ヲ立テ居リマシテ、所得ガ毎年出
ルヤウニ輪伐計畫ガ出来テ居ルノデアリ
マス、毎年所得ガアルト云フコトニナリマ
スレバ、他ノ所得ト區別シナイデモ宜イト
云フ極論サヘ出来ル譯デアリマスケレドモ
是ハ先程來御話ノ通り、山林所得ノ性質ニ
鑑ミマシテ、謂ヘバ足弱イト云フヤウナ點
モ考慮ニ入レマシテ、假令輪伐計畫ニ依ッテ
毎年所得ガアツテ、他ノ所得ト餘り大差ガナ
イトシテモ、今申シタヤウナ緩和規定ヲ適
用シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ程度デ
大體當局トシテハ宜シカラウト存ジテ居リ
マス

ガ、如何ナモノデセウカ、大藏大臣ノ大體ノ御考ヲ伺ヒタイノデス
○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ收入モナカ
ナカ大事デアリマシテ、出來ルダケ租稅收
入ニ依ッテ賄フ、ト云フコトガ大事デアリマ
ス、唯收入ニフミ專念スル譯ニハ參リマセ
ヌノデ、他ノ經濟政策ガ圓満ニ行ハレマス
ヤウニト云フコトモ考ヘナケレバナリ

○子爵大河内輝辨君 重要産業モ成ル程御
話ノ通り非常ニ是ヘ生キタ經濟デスカラ、
幾ラ價格ヲ制限シテモ儲ケルモノハ儲ケル、
是ハ仕様ガナイ、重要産業デモ儲ケル者ガア
ル、ソレニ對スル相當ノ課稅ハスルノハ宜
イト思ヒマスガ、ドウデスカ、山林ト云フ
モノハ重要産業ノ中デモ、誠ニサウ言ッチヤ
山林局長ヲ眼ノ前ニ置イテ何デスガ、誠ニ

モ案ヲ此處へ持出シテ、ソレヲ固執スル考
モ無論アリマセヌシ、無論大藏省ノ案ヲ、
折角衆議院迄通ツテ來タモノヲ、此處デ直サ
ウト云フ考モアリマセヌ、併シ假ニデス、
之ヲ直シテシマシテ私ノ言フヤウニスルトシ
マスレバ、是ハ主税局長デ結構デスガ、何
カ課税技術上他ノモノト權衡ヲ得ヌト云フ
ヤウナ點デモゴザイマセウカ、其ノ點ヲ簡

○子爵大河内輝耕君
私ハモウ少シ端的ニ
伺ヒタノデスガ、大體ノ御考ハ能ク分リ
マシタガ、此ノモノガ不權衡ニナツチ居ル
ト云フモノハアリマセヌカ、私ノ言フ通り
一萬圓ノモノヲ一萬五千圓ニシタラ、其ノ
五千圓ニ付テハ矢張リ、一萬圓デヤツテ行
クト云フコトニ假ニ引下ゲルトシタラ、是

ト今度ノ臨時措置ニ依ル減税ニ直チニ引掛
ラナイヤウニ思フノデアリマス、唯其ノ場
合ニ、今御話ノゴザイマシタヤウニ、其ノ
部分ハ過去ノ實績ノ或程度ノ平均ト比較シ
テ之ヲヤルカドウカト云フコトニ付キマ
シテハ、私共ト致シマシテ、サウ願ヘレバ
ソレモ一ツノ考へ方トハ存ズルノデアリマス
ルガ、果シテ課税ヲ致シマスル方面カラノ
色々ナ御關係カラ、ソレデ宜イカドウカハ
チヨットハキリ致シマセヌ

○子爵大河内輝耕君 大體山林當局ノ思召
ハ能ク分リマシタ、財政當局ニ於テモ是ハ
非常ニ重キヲ置イテ居ラレルト云フコトモ
能ク分リマシタ、ソレデ大藏大臣ニ伺ヒマ
スルガ、是ハ場合ニ依リマシタラ、私速記
ヲ後カラ削ゲテモ宜イノデアリマスガ、別ニ
差支モナカラウト思ヒマスガ、私ハ租稅ノ
稅法ノ建方ハ斯ウ云フ風ニ解釋シテ居タ
收入ト云フモノハ第二デ宜イノダガ、寧ロ
濫費ヲサセナイ、又一方ニハ生産擴充ヲヤッ
テ行カウト云フコトヲ第一ニ置イテ、サウ
シテ收入ト云フヤウナモノハドウセ足リナ
イノダカラ、他日財政ノ計畫デモ確立スル
場合ハ格別、サウデナケレバ其ノ方ハ二ノ
次ニ置クト云フ位ノ實ハ私ハ其ノ頭デ居
タノデスシ、新聞等ニ書イテアルコトモ、

マセヌシ、ソレカラ収入ヲ得ル方向ガ、
戰時ノ經濟ガ戰力増強ノ爲ニ集中サレル
コトヲ助ケルヤウナ意味デ參ラナケレバナ
リマセマノデ、平時ト達ツテ其ノ點ニ重キ
ヲ置クト云フコトヲ申シタノデアリマス、
マア收入モナカヽ大切デアリマスカラ其
ノ點ヲ考ヘナガラ、收入ニモ出來ルダケ
努メテ行キタイ、マア形容的ニハ平時カラ
見レバ收入ハ第二ト云フヤウナ言ヒ方ヲ新
聞ナンカデ出テ居リマスルガ、第二ダカラ
シテマア減タッテ構ハナイト云フ風ニ考ヘ
マスト云フト、ドウモソコガイカヌノデヤ
ナイカト思ヒマス、或重要産業ナラバド
ンナコトヲシテモ減シテモ宜イ、大イニ利
益ヲ與ヘテモ宜イト云フヤウナ風ニ假ニ考
ヘラレル意見ガアルトシマシテモ、ナカヽ
重要産業ノ中デモ利益ノアルモノガアルノ
デ、負擔力ガアルモノヘ負擔ヲ増サナケレ
バナラヌト思ヒマス、唯無理ナ負擔ヲサシ
テ、所謂眞面目ニ經營シテモ損ヲスルヤウ
ナコトシテニ置イテ、増産ラシロト言ツテ
モ、ナカヽ無理ナ話デアリマスカラ、是
ハ適正ナ利益ヲ考ヘナケレバナラヌガ、重
要產業ニナシテ居ルノダカラ稅モ負ケロ、補
助金モ出ス、何ト言ヒマスカ、何モ彼モト
云フノハ行過デアルカラ、其處ハ適正ニ考
ヘテ行ヒタイト思ヒマス

「ミゼラブル」ナモノデス、ドウモ此ノ課稅法ト云フモノハ、何時モ問題ニナッテ來テ、販賣法ガ惡イト言フチャヤソレッキリデスガ、隨分儲カラナイカラ出ナイント云フ評判ガアッタ、餘計ナコトヲ言フヤウデスケレドモ統制會ノ問題ナドモ困ッテ居ラレルダラ、ウト思フ、重要產業ノ中デモ誠ニ足弱ナモノデアルコトハ、是ハナンデセウネ、農林當局ハ無論御認メデセウネ

○政府委員(井出正孝君) 此ノ森林所有者ノ立場ハ御話ノヤウニ、非常ニ木材ノ公定價格ガ一面ニ抑ヘラレテ居リマシテ、ソレカラ所謂木材ノ市場價格ノ逆算デ、運賃、労力賃其ノ他ヲ伐木造材シテ居ルモノヲ差引イタ最後ニ残ツタ價值ガ、立木價格ニナルト云フノガ、實際ノ立木價格ノ評價ノ骨子ノヤウニナラザルヲ得ナイノデ、其ノ關係カラ御話ノヤウニ、一方木材ヲ生産シテ來マス今ノヤヤウ經費ガ、是ハドウシテモ運賃ガ騰リ、或ハ勞賃ガ事實騰ルト云フ狀態ガアリマス場合ニ於キマシテ、最モ困難ヲ感じテ居ルト云フ意味ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(松隈秀雄君) 山林所得ニ付キ
マシテ先程モ申上ダマシタ通り、他ノ所得ト合算シナイバカリデナク五分五乗スル方
式ヲ立テ居リマスル爲ニ、租稅負擔ヘ他
ノ所得ニ比シテ相當輕クナツテ居ルノデア
リマスルカラ、是以上特別ノ措置ヲ講ジマ
スルト云フト、又他ノ所得トノ釣合ヲ失ス
ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘラマス、
ソレカラ五分五乗スルト云フ精神ヘ、永イ
間ノ所得ガ偶ニ出タト云フ時ニ、普通ノ所
得ト看做シテ課稅サレテハ氣ノ毒ダト云フ
コトデアリマスガ、最近ニ於キマスル山林
所有者ノ狀況ヲ見マレバ、少シ大キナ山林
所得ヲ擧ゲマスルヤウナモノハ、皆何レモ
施業案ヲ立テ居リマシテ、所得ガ毎年出
ルヤウニ輪伐計畫ガ出來テ居ルノデアリ
マス、毎年所得ガアルト云フコトニナリマ
スレバ、他ノ所得ト區別シナイデモ宜イト
云フ極論サヘ出來ル譯デアリマスケレドモ
是ハ先程來御話ノ通り、山林所得ノ性質ニ
鑑ミマシテ、謂ハバ足弱イト云フヤウナ點
モ考慮ニ入レマシテ、假令輪伐計畫ニ依テ
用シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ程度デ
大體當局トシテハ宜シカラウト存ジテ居リ

ト差支がアル、不權衡ニナルト云フヤウナモノハ、何カ他ニ物指ヘアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) サウ云フモノニ
付テハ他ニハ例ハゴザイマセヌ
○子爵大河内耀耕君 大藏大臣ニ伺ヒマス

ガ、今申上アガタ通リ私ハ之ヲ直スト云フ氣モアリマセヌシ、非常ニ御同情下スシテ居

ルニトハ私モ分ニテ居リマスソレデスガ、是ハ大藏省方御同情下スツテ有難ウゴザイマスト云ツテ私ハ引下レル問題デナイ、山

林ノ事情ハ大藏大臣モ無論御承知ノコトデ、
實ハ色々ノ點カラ色々ノコトガアルノデ、

實ハ當局ハ御心配グラウト思フ、今度モ太
分ナ補助金ガ出テ居ルコトモ存ジテ居リマスケ
レドモ、端的ニ之ニブツカル譯デナイシ、

今迄出ナカツ夕所ニ林道ヲ造ル補助金トカサウ云フモノガアルヤウデアリマスガ、若

シ之ヲヤツテ御覽ニナッタ上デ、愈々林産ガ危
イ、モウ少シ金デモヤツタラ何トカナルダ
ラウト云フヤウナコ、デモアリマソウナラ

ヨザイマスガ、機宜ヲ誤ラザル措置ヲシテ
バ、其ノ時ヘ一ツ豫備金デモ何デモ宜シウ

戴キタイト思ヒマス、決シテ御約束スル譯
テモナク、言質ヲ取ル譯デモアリマセヌガ、
ト豊・伊集里・同・バ・ハ・吉野・
ト

大體ノ御意見玄宿へハソレテ結構テノ
○國務大臣(賀屋興宣君) 前ニ主税局長ガ
申上ゲタヤウニ、先づ他ノ所得ト合算ヲシ

ナイト云フ點ト、山林所得ダケヲ五分致シ
マシテ五倍スルノデアリマスカラ、累進

ト云フコトハ山林所得ニハ、他ノ所得ニ比較シテ殆ド響カナイト云フ位ニ、累進稅額ヲ多クスル影響ハ非常ニ少イ譯デアリマ

ス、元々サウ云フ建前ニナツテ居リマス、
ソレデ今ノ増伐ノ五分ノ一ヲ引キマシテ
モ、他ノ累進ナドガアルモノニ較ベマスト

○子爵大河内輝耕君 大藏大臣ノ御話デ能ク分リマシタ、併シ事情ヘナカ／＼切迫シテ居リマスノデ、神社ノ境内ノ木ヲ伐ルトコトナラバ第二豫備金ノ如キモノモ、實ニ平時カラ見マスレバ意想外ノ巨額ヲ計上シテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ時ニソレガ必要デアルト云フコトニ致シマスレバ、機宜ヲ誤ラザル處置ハ無論孰ル積リデゴザイ

林ノ増伐ヲ阻害シマス原因ハ、税金モ考ヘラチイ譯デヘアリマセヌガ、寧ロ輸送デアリ、又一面何故木材ガ戰時下必要デアツモノヲ自分ノ方デハ今伐ル必要ガナイ、一家ノ經濟カラ申シマシテ……ソレヲ伐ラナテ、一家長イ間苦心シテ育テタ山林ト云フモノヲ自分ノ方デハ今伐ル必要ガナイ、一家ノ經濟カラ申シマシテ……ソレヲ伐ラナケレバナラヌ、殊ニ林業ト云フモノハ長年ノ長イ眼デ堅實ニ經營ズベシト云フコトガ原則ニナシ人ノ頭ニ入ッテ居リマス時ニ、何故ニ山林經營ノ原則カラ云ヘバ寧ロ邪道デアルコトヲヤラナケレバナラヌカ、是等ノ意識ガ十分ニ徹底スルカシナイカト云フ所ニ、又非常ニ重點ガアルヤウニ思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテハ木造船ノ問題ノ如キモノハ一般ノ觀念ニモ餘程ヨク入ッテ參リマシテ、利害ヲ構ハズ伐ラウト云フヤウナ話モドン／＼出テ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、關係當局デモ十分配致意シテ居リマスカラ、是デ大體行タルモノト思ヒマス併シ此ノ問題ニ限ラズ、戰時ニハナカ／＼平時ノヤウナ長イ間ニ通ジ得ベキ道理ナドヲ考ヘテ色々議論シテ居リマシテベ、目前ノ急ガ救ハレナイ時デアリマスカラ、必要ナラバドレ程デモ致シマス、又金デ済ムコトナラバ第二豫備金ノ如キモノモ、實ニ

コト迄新聞紙上ニ言ヘレテ居ル、サウ云フ
コトデアリマスカラ、ドウカ此ノ法ノ運
ニ付キマシテヘ出來得ル限リ生産ヲ害サヌ
ヤウニ、ト云ツテハ惡イノデゴザイマスガ、
成ルベク山林所有者ノ負擔ヲ少クスルヤウ
ニ御願ヒシタイ、殊ニ私ガ最後ニ聽イタヤ
ウニ、命令ヲ以テ定メルベキ事項モ澤山ア
リマセウシ、是カラ命令モ出テ來ヨウト思
ヒマスカラ、サウ云フヤウナコトノ場合ニ
ハ、出來ルダケ同情ヲ以テ見テ戴キタイ、
斯ウ云フ風ニ考ヘマスガ如何ナモノデスカ
○國務大臣(賀屋興宣君) 施行ノ上ニ付キマ
シテハ十分注意ヲシテ參リタイト存ジマス
○子爵大河内輝翁 私ノ山林ノ質問ヘソ
レデ済ミマシタガ、ドナタカ山林ニ付テノ
質問ガゴザイマセンケレバ他ノ問題ニ移リ
マスガ……

リ松毛蟲ノ附キマス木材ト云フモノハ、百年若シクハ二百年ヲ經マシテ、直チニ造船材料其ノ他ノ用材ニ役ニ立ツモノガ多イノデアリマスカラ、特ニ私ハ其ノ必要ヲ痛感致シマスガ、其ノ點ニ對シテハドウ云フ御考ヲ御持チデゴザイマスカ

○政府委員(井出正孝君) 御話ノヤウニ近年北九州、ソレカラ中國筋ニ於キマシテヘ松ノ毛蟲ト申シマスヨリハ、松ノ皮ト心材ト申シマスカ、末質部ノ中間ヲ食ヒ荒シマス害蟲が非常ニ蔓延シマシテ、是ガ爲ニ是等ノ地方ノ松ガ非常ニ枯レテ參リマス狀態デアリマス、其ノ蟲ハ成蟲ニナリマシテ羽ヲ持ツテ、次カラ次ニ移動シテ參リマシテ、此ノ蟲ノ害ガ最近順次擴張ツテ、東ノ方へ東海道邊ヘモ參ツテ居ルト云フヤウナ蔓延ノ徵モ見エルノデアリマス、此ノ害ヲ其ノ儘ニ放置シテ置キマスコトハ、木材ノ中デモ最大切ナ部分ヲ占ヌマス松ノ資源ニ非常ニ關係シマスノデ、被害ノヒドイ所ニ對シマシテハ取敢ズ本年度第二豫備金、ソレカラ明年度ノ豫算ト云フヤウナモノデ、ヒドイ被害ニ對スル部分ノ取敢ズノ手當ト云フモノヲ致スコトニ致シタノデアリマス、其ノ結果ニ依リマシテ、尙此ノ蟲ノ蔓延狀態ガヒドイト云フ風ナ場合ニ於テハ、更ニ機宜ノ對策ヲ相當講ジナケレバナラナイコトト存ジテ居ルノデアリマス、左様な場合ニ於キマシテハ、御話ノヤウニ結局被害ニ罹ラムトシツ、アルヤウナ方面ノ林木ヲ早目ニ伐採スルト云フ風ナコトガ固ヨリ有效ナ防除方法ノ一つデアリマシテ、今後木材ノ生産ノ區域ヲ割當テル場合ニ於テハ、固ヨリ左様ナ點モ考慮致シテ參ル必要ガアラウト思ヒマス

キマシテモ、一千萬圓程度ノ經費ヲ、府縣ノ砂防事業ニ對シマシテ補助ヲスル建前ニナシテ居リマス、又新シイ直轄河川ノ砂防ニ付キマシテモ二河川バカリ特ニ計上ヲ見テ居リマス、又從來ノ著手致シマシタ直轄ナリ、府縣ノ砂防ニ付キマシテモ相當力ヲ入レルコトニ相成シテ居リマス、固ヨリ是ダケノ經費デ今日ノ實際ノ必要ニ應ジ得ルカト云フコトニ付キマシテハ、私共モ非常ニ心配ヲ致シテ居ル所デゴザイマスガ、何分資材ノ關係ニ於キマシテモ、非常ニ困難ヲ感ジテ居ル時デゴザイマスカラ、已ムヲ得ズ其ノ程度ヲ本年度ハ計上致シテ居リマスヤウナ次第デアリマス、只今ノ御意見ニ付キマシテハ、將來トモ私共トシテハ十分ニ考究致シマシテ、對策ニ遺憾ノナイヤウニシテ參リタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 此ノ問題ハ國土保安上最も重大ナル問題デアリマシテ、他ノ如何ナル問題ヨリモ是ニ越ス重大ナ問題ハナイト私ハ思フノデアリマス、其ノ事ヲ十分御考ヘニナリマシテ、且此ノ日本ニ大キナ雨ガアリマスト云フト、其ノ水害ハ獨リ人命財産ニ影響ヲ及ボスノミナラズ耕地ノ表面ノ肥沃ナル表土ヲ洗ヒ流シマシテ、農產物ノ増加ヲ要スルコト最モ急ナル今日ニ於キマシテ、實ニ寒心スベキ結果ヲ齎スコトハ必然デアラウト思ヒマスノデ、尙今後治水問題ニ付キマシテハ十分ナル豫算ヲ御取リニナリマシテ、資材勞力等ノ許ス範圍内ニ於テ絶大ナル御努力ヲ仰ギタイト思ヒマステ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メ
〔速記中止〕

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メ
出席者左ノ如シ 午後四時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君
副委員長 男爵東郷 安君

大藏省理財局長 田中 豊君
大藏書記官 同
農林省山林局長 池田 勇人君
厚生省勤勞局長 井出 正孝君
持永 義夫君

委員長	公爵徳川 家正君	公爵一條 弱基君	侯爵井上 三郎君	子爵大河内 輝耕君	子爵西尾 忠方君	子爵梅園 篤彦君	子爵綾小路 護君	子爵牧野 康熙君	小林 一三君	小倉 正恒君	男爵岩村 一木君	男爵益田 太郎君	男爵島津 忠彦君	男爵倉富 鈴君	安宅 彌吉君	野村 德七君	橋本辰二郎君	中島徳太郎君	岩田 三史君	中野 敏雄君	千秋君 嶽君	賀屋 興宣君	大藏大臣	同	内務次官	内務書記官	大藏省主税局長	松隈 秀雄君	政府委員